

タヒチヌイトラベル発

TAHITI NUI TRAVEL

タヒチプチ情報

2012年2月17日発信

イアオラナ！現地旅行社タヒチヌイトラベルが発信する、タヒチのプチ情報です。

皆様こんにちは！

今週はユネスコ世界自然遺産に登録されている「ファカラバ」の北側でのダイビング情報を“少し”お伝えします。ファカラバ環礁には「ガルアエパス」という仏領ポリネシアで一番大きなパスがあり、その幅は約1マイル（1.6km）もあります。

難しいポイントなのでは？とよく質問をいただくガルアエパスには、7本の潮流が入り組んでおり、ダイビングは干満に合わせ、

潮流の強弱を確認して行われます。

ガイドのブリーフィング通りの深度や方向へ進まないとならず、中世浮力が取れないダイバーには優しいとは言えません。

しかし、パスだけではなく、リーフ沿いやラグーンの中にもポイントがあるので、各レベルのダイバーにお楽しみいただけます。



パスの最大水深は30mほどで、見渡す限りの珊瑚、珊瑚、珊瑚。まさに竜宮城！そして魚影がとても濃いのです。中にはダイバー憧れのマンタやハンマーヘッド、バラクーダやギンガメアジの群れ、カメ、ナポレオン、カジキやイルカも見られることがあります。（野生なので、いかなるものに対しても確約は出来ません！悪しからず。すべて目撃情報によるものです。）

大物と呼ばれる人気魚もちろんですが、ファカラバの一番の見どころは、とにかく美しい色とりどりの珊瑚にあり！（意見には個人差がありますが。）珊瑚の間で、上で舞うチョウチョウウオやパープルビューティーなどの群れの色も美しいです。

あえて写真を選びませんでした、サメは笑ってしまうほどいます。種類も豊富。

ドリフト（潮流によって流れるダイビング）で、フィンキック不要！潮の流れでぐるぐる回されるので360°思う存分見回して、いろいろなお気に入りを探してみてください！

多くがアウトサイドからインサイドラグーンへの流れですが、その時の潮流の入り方により、30メートルの底付近をひ

たすら進まなければならない時もあるため、通常のエアと同料金で、高酸素エア（ナイトロックス/酸素分圧が多いため
に長時間のダイビング後でも体内残留窒素が少なかったり、窒素酔いになりにくくなったりします）を推奨するダイビ
ングショップもあります。

また、1日3本はリクエスト可能ですが、ナイトロックス利用者限定です。

ファカラバは、手つかずの自然と隣り合わせの環礁です。ホテルは1件しかなく、その他の宿泊施設ではお湯も出ませ
ん。（日のあるうちなら水が生暖かいので問題なし。）人々は親切で、古くから変わらずそこにあるのだと感じさせます。
時間の過ぎ方がゆっくりで、日ごろの自分の生活が、まるで遠い夢のような感じになる場所です。



ダイバーではなくても、白い砂浜や、ペンションでお願いしてピクニックなどに出かけると、そこにはピンクサンドビ
ーチも。

現在も黒真珠の養殖も行われており、シルバーを使ったアクセサリーも安価で手に入ります。

タヒチに行きたい！と思われたら、ぜひ候補にあげていただきたい場所です。

皆様のお越しを、お待ちしております。